

をく、式うへ兵下式二あれば、二を内侍位記の筥の上なる下名をとりて東階にす、む、これより  
さきに諸卿外弁につく、内辨宜陽殿の壇上のへんにたつ、御後に出御のよしを聞て、近衛の陣は  
ひくなり、内侍東階に出ぬるをみて、内辨はしのもとにす、みて下名をたまはる、内侍かへり入  
内辨宜陽殿の兀子につきて、ちさわらはをめす二聲、内堅す、む、仰云、のりのつかさ、つは物のつ  
かさめせ、式兵丞六位藏人につれす、みて内辨のまへにたつ武官弓内辨の、つかさをめす、稱唯  
してわしりす、みて、ひざまづきて下名をたまはり本列にかへる、つはもの、つかさ又おなじ  
二省の丞ともに、えりぞく、内侍又東階にす、みてめす、大臣稱唯して軒廊よりねりす、みて、謝  
座をはりて堂上にのぼる、大臣ちさわらはをめす二こゑ、内堅さくらの木のもとにす、む、仰云  
の、つかさ、つはもの、つかさめせ、二省の輔代、櫻の木の下にたつ、めしによりて式部輔代五位  
堂上にす、む、式のはこをたぶ、二あらば歸りまいれといふ、輔代丞にはこをもたしめて又歸り  
まいる、又一のはこを給、又つはもの、つかさめす、輔代まいりてはこを給事さきのごとし、二省  
はこを丞にもたせて、をの／＼案にをきて、えりぞく、内辨開門仰せ、關司座につき、とねりめすこ  
と元日のごとし、諸卿謝座謝酒をはりて、堂上の座につく、内辨座をたちて、叙位の宣命をとりて、  
かへりのぼりて内侍につけて奏聞す、返給て杖をかへして歸りのぼる、上階あるときは中納言  
の中に宣命使を仰す、まからざれば參議、これをつとむ、大臣參議に仰て叙列を催す、式兵輔代叙  
人を引て前庭にす、む、輔代は案のもとにたつ、叙人は標にたつ、宣命使めしによりてす、みて  
宣命をたまはる、大臣已下下殿宣命使、こんらうより出て、曲折の揖して、西にむかひて練て、案の  
もとをとへて式案二あるへんにつく、宣制のやう、元日にみえたり、但後のたびも二拜也、叙人は拜  
せず、宣命使かへりのぼりて、大臣已下おなじくのぼる、式兵の叙人をの／＼案の下にす、みて  
位記をたまはる、輔代、これをたぶ、案の下にひざまづきて給て、いさ、かひらきみる、揖して、えり